

## 熱処理誌の投稿区分の改訂について

編集委員会委員長  
長谷川誠

熱処理誌の投稿区分は、2020年9月10日の改訂を最後に、約5年間変更がありませんでした。熱処理編集委員会では、熱処理誌の内容をより活性化させるための議論を進める中で、投稿区分をより適切な形へと改善する必要があると判断しました。複数回にわたる編集委員会での議論を経て、現状に即した規定の変更を実施しました。具体的には、学術論文と技術論文における規定の見直しによる、それぞれの論文の役割と位置づけの明確化、技術資料の役割を技術論文に内包する形での、技術資料と技術論文との統合による発展的解消、本来の「口絵」の趣旨に立ち返った、視覚的に訴求力の高い新たな「口絵」の提案です。

これらの変更にともなって、投稿規定や執筆要項もあわせて見直しを行いました。特に「口絵」については、視覚的な魅力の高い記事となるよう、「口絵」執筆ガイドラインも新たに整備いたしました。

新しい投稿区分および改訂された投稿規定、執筆要項、ならびに「口絵」執筆ガイドラインを、ぜひ一度ご確認いただければ幸いです。

今後も、読者の皆様にとって有意義な記事をお届けできるように努めてまいります。ご意見やご要望がございましたら、ぜひお寄せください。引き続き、熱処理誌をご活用いただき、皆様の研究や実務にお役立ていただければ幸いです。

### <改訂>

- ①学術論文：熱処理（材料と表面の改質）に関わる領域、またその周辺領域に関わる科学技術の発展に資するオリジナルな成果を記述したもの。
- ②技術論文：熱処理（材料と表面の改質）に関連する材料、方法、設備、管理などにおける有用なデータ掲載や実施の状況、また創意工夫の結果を記述したもの。
- ③技術解説：熱処理（材料と表面の改質）およびその周辺技術について解説したもの。
- ④口絵：熱処理（材料と表面の改質）あるいはそれに関連する技術により形成された材料組織や特徴的な試料・製品形態を表す画像（写真やグラフ）やその特性や意義を記述したもの。写真や図が全体構成の1/2以上を占め、視覚性に富むものを推奨する。
- ⑤自慢の製品・自慢の技術・自慢の研究：熱処理に関する自慢の製品、技術あるいは研究を紹介、宣伝するもの。
- ⑥エッセイ・報告：随想や国際会議報告、その他、読み物として価値がある報告文など。編集委員会からの推薦が主となるが、自薦も推奨する。ただし、掲載時タイトルは内容を反映したものにする。

(2025年8月1日改訂)